



シルバー

松山

秋季号

<発行>

社団法人 松山市シルバー人材センター
所在地 〒790-0808 愛媛県松山市若草町 8-3
TEL (089)933-7373
FAX (089)933-0131
URL <http://m-silver.sakura.ne.jp>
Eメール matuyamasc@sjc.ne.jp

設立25周年記念特集号

目次

- P-1 表紙
絵手紙「お月見」
会員 近藤 幸子
- P-2 設立25周年を迎えて
理事長あいさつ 白石 省三
松山市長あいさつ 野志 克仁
- P-3 過去をたどり 現在を知り 未来を拓く
副理事長 熊野 伸二
味酒B-2 大西 郁
- P-4 雄郡E 乗松 幸子
潮見A-1 池田 郁江
雄郡A-2 穴吹 明
- P-5 25周年の歩み
センター設立～移転～統合
25周年年表
- P-6 地域普及啓発事業
25周年年表(つづき)
- P-7 会員活性化活動
若草会活動
- P-8 賛助会員紹介
(社)日本産業カウンセラー協会
岡田印刷(株)
- P-9 設立25周年おめでとうございます
- P-10 理事会の動き
議事審議内容
新規事業 はっぴー相談室開設
- P-11 現場訪問記
イオンリテール(株)松山店
クロスワード・パズル
- P-12 地域班だより
- P-13 松山ぶらり・ぶら～り
句碑と温泉
- P-14 若草会だより
松山まつり
サークル紹介(ゴルフ)
- P-15 会員の広場
伊藤博文公と松山
自慢の孫紹介
- P-16 こちら事務局
設立25周年記念事業他
編集後記



絵手紙「お月見」

これくらいと 思う心が 事故のもと

(社)松山市シルバー人材センター 平成23年度「安全就業スローガン」最優秀作品 (松下晴一さん作)

理事長あいさつ



理事長

白石 省三



社団法人松山市シルバー人材センターは、昭和六十二年に設立し、この度、設立二十五周年の記念すべき節目の年を迎えることができました。

この間、ご利用いただいたお客様のご支援・ご協力と、松山市をはじめ、関係機関のご指導のもと、会員の皆様の積極的な事業参加と歴代役職員の熱意に支えられ、事業を拡充できましたことは、誠に有難く、心から感謝とお礼を申し上げます。

ご案内のとおり、シルバー人材センター事業は、近年、景気の低迷や政府の事業仕分けによる補助金の削減等により、これまででない厳しい情勢となりましたが、当センターは、松山市のご理解の下、新たな事業への参入、更なる事業拡充を図る中で、地域の高齢者が、住みなれた地域で健やかに過ごせる

仕組みづくりと、会員の皆様の経験と技能を有効に活かしていただく仕組みづくりに傾注しているところであります。

そうした取り組みを進めていく一方、設立二十五周年を機に、今年度の通常総会で「会員憲章」を定めました。

我々は、お客様から信頼される活動の継承、社会貢献活動への積極的参加、高齢者ケアの一翼を担うこと等を互いに誓いました。

これからの地域社会を我々が支えてゆくこと、そして如何なる厳しい情勢にも立ち向かう志を互いに確認し、今後、会員の皆様お一人お一人の生活が一層充実する活動を展開してまいりたいと存じます

設立 25 周年 を迎えて

社団法人 松山市シルバー人材センター

す。

今後共、ご利用いただくお客様、松山市並びに関係機関各位のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。益々のご健勝と、ご活躍を祈念し、ご挨拶と致します。



松山市長あいさつ



松山市長

野志 克仁

社団法人松山市シルバー人材センターが設立二十五周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

松山市シルバー人材センターは、昭和六十二年十月に設立されて以来、高齢者の就労を支援し、生きがいづくりと社会参加の促進に取り組みされておりますことに深く敬意を表するしだいでございます。

さて、我が国は、六十五歳以上の高齢者が五人に一人という超高齢社会となっており、今後も高齢化の進展が見込まれる中、働くことを通じて生きがいの充実等を図るシルバー人材センターの果たす役割には、大きな期待が寄せられております。

本市におきましても、「一人でも多くの人を笑顔に、全国に誇れる、わがまち松山」というキャッチフレーズを掲げ、私達の先輩や障がいのある方々がいきいきと暮らし、気軽に外出することができるよう、安全・安心なまちづくりを重点的な取り組みの一つに位置づけ、高齢者の健康や生きがいづくり、社会参加の促進につながる諸施策の推進に努めているところでございます。

どうか、皆様におかれましては、これまで培われた経験や知識を活かされ、明るく活力ある長寿社会の実現に向けて、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、松山市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と皆様方により一層の御健勝、ご活躍を心から祈念いたしました。お祝いの言葉といたします。

『過去をたどり 現在を知り 未来を拓く』 シルバー25周年に寄せて

「挑戦」と「共助」で 新時代のシルバー拠点へ



副理事長 熊野 伸二

国民の平均寿命は、男子七九・六四歳、女子八六・三九歳と我が国は世界最長寿国になった。

しかし、超高齢化社会を迎えながら、国や自治体の高齢社会対応は、とても万全とはいえない。むしろ、財源捻出のために、年金減額や医療費や税の引き上げ案が話

題に上るなど、高齢者福祉の後退が懸念される現状だ。

そうした中で、松山市シルバー人材センターへの入会者は、年々増加傾向にある。将来に対する漠然とした不安が、人びとをセンターへ向かわせていると見ることもできよう。

だが、リーマンショックによる景気後退に続き、東日本大震災発生、歴史的円高傾向などによって、経済は一向に改善されず、若者の就職さえ厳しく、高齢者の就業先開拓も困難が伴う。

そこで求められるのが、これまで気付かなかった地域社会の期待、ニーズの掘り起こしなど新就業先開拓への「挑戦」と就業機会を分け合い、平均化していく「共助」ではないだろうか。同時に会員の人間力の向上、スキルアップ

も不可欠だ。

長い職業人として、或いは人生経験で培った知識や技術に加えて、幾多の喜怒哀楽をくぐり抜けて来た「人生の味」を持った会員組織でありたいと思う。

二十五年の経験に学び、新時代へ脱皮したシルバーでありたい。



「託されたもの」

「託すもの」



味酒B-2
大西 郁

人は歳を重ねても情熱と志があれば青春、なければ老。SC(シルバー人材センター)は青春の宝庫です。「十年一剣を磨く」を座右の銘にして十七年、筆耕を続けていまだ道半ばです。一剣は磨き上がらず、青春は進

行中です。

指導された先生は、先輩会員で豊富な経験を基に多くの受講者を育成されました。

それに自分なりに創意工夫を加え、次にバトンタッチしたいと思っています。

初期の会員は、骨身を惜しまず粘り強く、丁寧な仕事をしました。一方で繋がる会員としての温かさを大切にして固い絆を培いました。その愚直なまでの気風が信頼されるセンターの根底にあり、先輩会員より託された理念だと思っています。

十周年頃には想像もつかなかったのですが、今では介護・派遣・IT関連事業等の柱がしっかり根付き、さらに新分野への参入と、日進月歩の発展が続きます。

これからもSCが時代のニーズに柔軟に適応してさらに進展するには、新しい感覚と、はじけるようなパワーが必要です。

二十五周年は古い殻を脱ぎ、新しいタイプのシルバーへ移行する通過点です。

前へ前へと進みながらも、豊かな心で繋がりが合い、温もりのあるセンターとして継続されることを願っています。

パソコン万歳!

シルバー人材センター万歳!



雄郡E 乗松 幸子

シルバー人材センターで、パソコンインストラクターやホームページの更新等の仕事をさせて頂いています。

パソコン三昧の毎日ですが、初めて触れたのは50歳を過ぎてからです。

前職は、写真植字の仕事で印字物等を作成していました。

深夜、徹夜は常時でしたが、ワープロ、そしてパソコンの普及で潮が引くが如く少なくなりました。

最新機械購入を考えましたが、リストラが叫ばれている頃でもあり、年齢的にも設備投資に迷いもあり、考えて考えて廃業しました。機械等諸々を処分した後のガラんとした仕事場を見るのは本当につらかかったです。でもそんな中、むくむくと湧きあがってきた、あの仕事に代わる「パソコンってどんなもの？」がパソコンを始めるきっかけ。機械・操作を覚えるたびに感動の連続。その頃にシルバー主催のパソコン

インストラクター養成講座を受講し、その感動のパソコンの仕事させて頂くようになりました。今、シルバー人材センターの会員として、毎日が楽しく充実しています。まだまだ現在進行形です。25周年を期に新たな気持ちで頑張っていきたいと思っています。気持ち動いたときがそのとき！

「私の舞台」



潮見A-1 池田 郁江

シルバー人材センター、それは私にとってまさに第二の人生でした。自分の足で、手で、意志で仕事が出来、また自分がこんな事も出来るのかと新しい発見と、喜びでワクワク、ドキドキの連続でした。

学生時代ある友人が「人間は『万物の霊長』である」と言われ頭から離れませんでした。

でも自分なりにまた色々な方と逢い、色々なお仕事にめぐり合ったりと人生最後の仕上げをするこ

センターは仕事をするだけでなく、自分の人生の仕上げの場でもあります。足りない所は加えて、足りない物は捨てて、色々なことに取り組んで行ける私には有難い十三年間でした。

出会い、私の心の中を見透かされた様に、したい事、好きな事を打出され、未熟な私にムチを与えてくれます。今まで人間と言う言葉を考えたが、今は「命」と言う言葉を大切にして行くつもりです。そして日々感謝して行きます。

私に出来る事、愛を持って一日一日命を無駄にしない様に、お仕事もすべてを大切にして行きたいと思っています。

事務局の方々も、高齢者の私達に笑顔を見せて下さって、二倍も三倍も力が湧きます。年を忘れ頑張ります。

「年齢をどこかに落とし、仕事する」ありがとうございます。

魅力あるセカンドライフを

めざそう



雄郡A-2 穴吹 明

私が松山市シルバー人材センターに入会したのは、5年前の夏で、シルバー主催のシニアワーク

プログラム事業講習会の教養講座に応募させて頂いたのが最初で、そこで新しい発見と出合いの体験をして、その後1年半集中して心理・傾聴(リスニング)関係約10講座を受講させて頂きました。

この講習会の成果と思われる事例として、市内小学校のプール監視員をしている時、プール内で子供同士の衝突で鼻血を出す事故があり、直ちに判断してPTA及び教職員の方と連携して業務を継続出来ました。

また金融機関の検定試験の試験監督官業務では、いきなり教壇に立つて、試験中の注意事項を説明する事になり、受験者で雰囲気にもまれそうになりましたが、直ちに気持ちを切り替えて試験の運営を無事終了する事が出来た事等が挙げられます。

このようにシニアプログラム事業の講習会で、技能面の向上は元より、あらゆる場面での柔軟な対応(変容)の出来るスキルを会得して、仕事のみならず地域社会及びボランティア活動に於いても大いに役立っております。

そしてこのスキルをさらに研鑽を重ね魅力あるセカンドライフをめざして行きたいと思えます。

25周年の歩み その1

センター設立～移転～統合①～③



センター設立に向けた準備を
紹介した松山市広報

① 社団法人 松山市シルバー人材センター設立 昭和62年10月7日



センター設立総会

昭和六十二年に松山市シルバー人材センターが設立されて二十五周年になる。これまでの歩みを、年表と写真アルバムによる構成で、まとめてみた。シルバー人材センターの基本理念である自主・自立・共働・共助の精神のもと、新公益法人に向けて新たなスタートを始めよう。

② 松山市ハーモニープラザへ事務所移転 平成7年8月10日



ハーモニープラザ全景 2階がセンター事務所



ハーモニープラザ起工式と
施設を詳しく報じた愛媛新聞

(社)松山市シルバー人材センター 25周年 年表

- 昭和62年 松山市シルバー人材センター設立 (会員数364名)
 - 平成3年 松山市庁第4別館内に事務所開設
設立5周年 (会員数622名)
 - 平成4年 松山市総合福祉センター内へ事務所移転
 - 平成6年 「宛名書き教室」開設 (独自事業)
 - 平成7年 互助会「若草会設立」
 - 平成7年 松山市ハーモニープラザ内へ事務所移転
「若草学習教室」開設 (独自事業)
 - 平成8年 設立10周年 (会員数1218名)
 - 平成10年 愛媛県シルバー人材センター連合会設立
 - 平成13年 設立15周年 (会員数1618名)
 - 介護保険事業開始
 - 松山福祉事務所開設
 - 「夢工房手すき和紙」開設 (独自事業)
 - 「夢工房パソコン」開設 (独自事業)
 - 平成22年「印刷夢工房」に改称
 - 「ぬくもり喫茶」開設 (独自事業)
 - 「シルバー健康フェスティバル」開催
 - まつやまR・再来館落成
 - 「夢工房リメイク」開設 (独自事業)
 - 若草会「松山まつり野球拳踊り」初参加
 - 「パソコン教室」開設 (独自事業)
 - 平成20年「悠優パソコン教室」に改称
- (次ページへ続く)

25周年の歩み その2

地域普及啓発事業①~④

① まつやまRe・再来館落成 平成14年7月7日



Re・再来館全景

落成式テープカット



夢工房リメイク

夢工房手すき和紙

② シルバー健康フェスティバル開催 平成14年～毎年



第1回開会式



ポスター



体操風景

③ 北条市・中島町シルバー人材センター統合 平成16年10月5日



統合契約書締結式



旧北条市シルバー人材センター



旧中島町ミニシルバー人材センター(合併当時)

- (前ページより続く)
- 平成16年 北条市シルバー人材センター
 - 中島町ミニシルバー人材センター統合
 - 北条市社協・中島町社協介護保険事業引継ぎ
 - 北条・中島福祉事務所開設
 - 平成17年 一般労働者派遣事業開始
 - 松山実施事務所開設
 - 平成18年 設立20周年(会員数2414名)
 - 平成20年 「9・15Workワーク働く・セカンドライフ」開設
 - 平成21年 「女性会員の集い」開催
 - 平成22年 公益社団法人への移行
 - 平成23年 設立25周年(会員数3081名)
- 後見人・信託事業開始

25周年の歩み その3

会員活性化活動

第1回 女性会員の集い開催 平成21年10月23日



開会挨拶



職種班会



職種班会(個別)

③ Workワク働くセカンドライフ開催 平成20年～毎年



開会挨拶(麻生前理事長)



展示販売



陶芸体験

若草会活動①～②

① 松山まつりにシルバー連参加 平成15年～毎年



出発前の集合写真
(H. 15. 8. 12)



シルバー連の踊り披露(千舟町)
(H. 15. 8. 12)

④ 坂の上の雲クリーンアップ大作戦 平成22年～毎年



開会式(H. 22. 12. 23)
市駅前 坊っちゃん広場



三番町通り(H. 23. 8. 6)

② シルバー文化祭 平成19年～毎年

(H. 21. 11. 14)



演芸(コミセン)
(H. 22. 10. 12)



道後公園(H.22.10.23)



法人 賛助会員紹介

設立25周年を迎えた 松山市シルバー人材センターに期待する

社 団
法 人
**日本産業
カウンセラー協会**



理事

田中 節子

25周年おめでとうござい
ます。

私は日頃シニア産業カウンセ
ラーとして、また賛助会員とし
て関わらせて頂いております。

カウンセラーの世界では
50、60は雛っこ。相談は昔
から長屋のご隠居さん、と相場
が決まっています。知識を経
験で練り上げた知恵袋を持つて
いるからです。

今「老いの才覚」こそが、無
縁社会化を防ぎ地域を活性化さ
せる要となっています。

毎日の生活の中で何事にも目
的を持って意欲的で、自分は家
族や人の役に立つ存在であり、
自分がいなければとの自覚を持
って生きていく。更に何かを達

成した、少しでも向上した、人
に認めてもらっていると思える
時に大いに才覚が発揮され、生
きがい感に繋がっています。

私は、このような生きがい感
を提供してくれるのがシルバー
人材センターだと思っております。
25年の銀婚式を迎え、金婚式
に向かうこれからも個人という
宝と企業・地域を結ぶwin・
win協働の架け橋となられる
ことを期待致しております。



代表取締役社長

桑波田 健

岡田印刷 株式会社

25周年おめでとうございま
す。

四半世紀と言う長い年月は、
もはややそう軽々しく口にするこ
との出来ない実績となりまし
た。その間に、多くの関係者の

方々が、取り組まれた功績に、
敬意を表します。

今や、シルバー人材センター
様の働きは、益々社会に必要と
されて行くことだろうと、確信
しております。長い間、私達日
本人は、経済至上主義で突き進
んで参りました。近年になり、
そのスピードが鈍化し、矛盾を
呈して来ても、立ち止まり、考
える事をしません。

男も女も、子どもも青年も、
壮年も老人も、みんなが楽しく
人生を過ごせる社会を、実現さ
せたいものです。

そう考える時、シルバー世代
の方々がいつまでも充実して、
喜んで働くことの出来る大切さ
を思います。そして、シルバー
人材センター様が、シルバー世
代の方々にそういう機会を提供
され、腐心されていますことに
敬意を表します。

今後益々、シルバー人材セン
ター様のご発展されます事を祈
念致します。


設立25周年

おめでとうございます




代表取締役社長
桑波田 健 Takeshi Kuwahata

岡田印刷株式会社
〒790-0012 愛媛県松山市湊町7丁目1-8
TEL(089)941-9111(代) FAX(089)932-1199
TEL(089)948-1145(直) FAX(089)932-3911
E-mail:kuwahata@prinart.co.jp http://prinart.co.jp/



社団法人 日本産業カウンセラー協会
法人 四国支部

事務局長
田中節子

〒791-8042
愛媛県松山市南吉田町2821-4
BizPort A501号
TEL : 089-907-7700
FAX : 089-907-7100
メール shikoku@counselor.or.jp

(有)田中化工機

代表取締役 **田中恒保**

〒791-8042 松山市南吉田町2798-71
TEL (089) 971-5055
〒791-8044 松山市西垣生町813-4
TEL (089) 974-8135
FAX (089) 974-1921




人と企業のコミュニケーター
ダイキグループ

株式会社
キャップ

〒790-0921 松山市福島寺町55-1
(イイ子福音寺店舗)
TEL (089) 990-3000
FAX (089) 990-3300

代表取締役
森美佐子

文部科学省後援 秘書技能検定1級
文部科学省後援 サービス接遇実務検定1級
URL <http://www.cp-cap.co.jp/>
E-mail: hello@cp-cap.co.jp
E-mail: mori@cp-cap.co.jp



代表取締役 **金子文理**
Kaneko Fumimichi

システムの近代化を推進する



四国メディコム 株式会社

〒791-8012 愛媛県松山市姫原3丁目5-1
TEL (089) 925-9236(代) FAX (089) 925-1006
E-mail: kaneko@smedicom.co.jp <http://www.smedicom.co.jp/>
携 帯 090-1579-0352



製紙原料のバイオニア

株式会社 **カネシロ**




代表取締役
小池正照

〒791-0054 愛媛県松山市空港通5丁目7番2号
TEL(089)973-2480 FAX(089)973-9700
<http://www.kaneshiro.info/> E-mail m-koike@kaneshiro.info

意識改革・業務改善・設備改善

株式会社 **SRS コメンズメント**

代表取締役
赤ひげ **山本久美**



本社 〒790-0047 松山市余戸南6丁目4-19
TEL:089-974-0878 FAX:089-974-5878
携帯電話:090-4974-8982
E-mail: pjz54548@mopera.ne.jp
東京営業所 〒134-0084 江戸川区東葛西6-6-1-308
TEL: 03-3877-3906 (FAX 兼)



秋山 影明

電話: 089-904-7630/FAX
携帯: 080-5115-7272
E-mail: nomomana915@yahoo.co.jp

事務所 〒790-0003
愛媛県松山市三番町1-6-4
自宅 〒790-0866
松山市永木町2-1-49 1305号

理事会の動き

平成23年度第2回
 定例理事会開催
 期日 9月15日(木)
 場所 ハーモニープラザ

議事審議内容

■第1号議案

設立25周年記念事業について

設立25周年記念事業にかかる8事業の概要と予算内訳について理事会で承認されました。

■第2号議案

新規事業について

財団法人健康・生きがい開発財団が独立行政法人福祉医療機構から受託する「東日本大震災の被災者就労支援事業」を再委託し、震災復興への関わりを一層深め、実りある事業として当該事業へ協力し本事業を実施することについて理事会で承認されました。

■第3号議案

平成23年度収支補正予算(案)について

平成23年度収支補正予算(案)について、定款第30条第2項の規程により承認されました。

■第4号議案

諸規定の制定と一部改正について

当センターの諸規定等の制定と一部改正することについて、理事会で承認されました。

○債権管理事務取扱要綱の制定

○理事会組織変更に伴う規程等の一部改正

○育児・介護休業法に合わせた就業規則の一部改正

■第5号議案

公益法人制度改革について

公益社団法人への移行申請手続きを進めるにあたり、定款等の諸条件を整備することについて理事会で承認されました。

○定款に掲げる事業について

○役員定数について

○役員報酬について

○移行年月日の検討について

《報告事項》

■理事部会報告

○各部会長より、各部会が所掌する事業についての報告と、営業担当理事より、営業推進員活動状況報告について、女性部会長より、第1回女性会員活動活性化委員会の報告がありました。

■事務局報告

○書面審議結果

第3回〜第7回書面審議事項

入会申込者数 132人

賛助会員数 18件を承認

○第一・四半期事業の実績報告

各事業の実績及び収支報告がありました。

新規事業

“はっぴー相談室”開設

当センターは、高齢者が判断能力の低下によって日常生活が困難になった際に、本人に代わって契約行為等を行う成年後見人制度の啓発と、よりよい在り方を模索するため、東京大学が経済産業省から後見信託推進事業を受任したプロジェクトに参画した。

本年8月8日、このプロジェクトを継続的に展開するため“はっぴー相談室”を(一番町1丁目14-10井出ビル4階)に開設した。

今後、弁護士・司法書士に代表される専門職後見人では、絶対数が不足するといわれているなかで、経験豊かな高齢者で組織する当センターが後見人の役割を担うため調査研究を進めている。



相談室 ☎ 987・3388



定例理事会

現場訪問記

イオンリテール(株)松山店

二神満洲雄さん(七八)が、イオンリテール(株)松山店へ、派遣されたのは、平成十八年九月、五年間携わっている。

二神さんは、サラリーマン生活で、営業畑を経験したベテラン。また実兄の関係から僧侶の資格を持ち、現在お寺の経営にも参画している。

二神さんの現場の仕事は、カーポート整理の業務派遣であるが、お客様の対応も大切な仕事である。この職場には、二神さん以外にも二人のシルバー会員が派遣されている。



イオンリテール(株)

ン社イ
の一人
と四人
が二人
が二交
替つ人
テロー
ンシー
をシ

組み就労している。それぞれが「二日勤務、一日休み」、「午前九時から」、「午後三時から」と四人で相談しながらの就労である。一日の勤務時間は四時間半から五時間。平均、月八〇時間となっていて、就労状況は各階の出入り口、駐車場、階段、エスカレーターなど、付近のカーポート、買物カゴの回収整理で、広範囲の中、スピードを要求される、きびしい状況である。特に一階食料品売場、レジ付近は時間的な問題(値引き)も加わり、大変な混雑が予測され、カーポート、買物カゴの整理が極限に急がれる。



カート整理をしている二神満洲雄さん

売出しには一日平均二五、〇〇歩は歩く(平日で平均一五、〇〇歩)。

イオン担当課長は「真面目で几帳面で人柄も良く頑張ってもらっており感謝しています」と語り、人生経験を積んだ高齢者の働きぶ

りに、好感を示してくれている。「体力的に大変ではありませんか」と問いかけると、「大変だけれど慣れました」と柔和な笑顔。帰宅して飲む酒が「うまい」ですよ、と何とも言えない笑顔が返ってきた。

二神さんは「私はこんな元気な身体に産んでくれた親に、いつも

感謝している」「いつもお客様から元気を頂いている」「お客様から頂いた元気をまたお客様へお返しする」そして「楽しく仕事をしています」と語った。

いつまでも元気で、いつまでも現役で、そう願わずにはいられない。

クロスワード パズル

二重枠に入る人物は誰でしょう?
葉書に、解答、郵便番号、住所、氏名及び電話番号を記入して、下記にお送りください。
正解者の中から、抽選で5名の方に粗品を進呈します。賞品は、12月初旬にお送りし、次回の会報に正解及び当選者のお名前を掲載します。

記

- 1 締切日 平成 23 年 11 月 18 日 (金)
- 2 送り先 〒790-0808 松山市若草町 8-3
松山市シルバー人材センター
事務局 吉野

- 横のカギ**
- 1 ハギ、オバナ、クズ、ナデシコ、オミナエシ、フジバカマ、キキョウを何と言う。
 - 6 (上司に)意見や希望を申し述べること
 - 7 間夜の反対は。
 - 8 非金属元素の一つ。マッチや殺虫剤の製造に使われる。
 - 9 海魚の一つ。四国では「ふか」ともいう。
 - 10 野鳥が飛んでいる姿に似た花を咲かせる植物で湿地に育つ。
 - 12 神社と寺院。
 - 13 「五加」何と読む。落葉低木の一つ。
 - 15 語調を英語で何という。
 - 17 気象状態。空模様。

- 縦のカギ**
- 1 農業に関連する事業。英語でいうと。
 - 2 社寺に寄付すること。
 - 3 「いいえ」をフランス語でいうと。
 - 4 高等植物の器官の一つ。養分、水分の通路となる。
 - 5 細長い近海魚の一つ。海面近くを泳ぐ。食用。
 - 9 人をだまして利益をはかること。
 - 10 意地立てから起こったけんか。恋の0000。
 - 11 ショウガ科の多年草。根からとれる黄色の色素は染料、カレー粉の原料となる。
 - 14 演技として行う格闘。
 - 16 漢字に日本語をあてて読む。

1	2	3		4	5
6			7		
8		9			
		10		11	
12			13		14
		15	16		
		17			

63号正解 「カトウヨシアキ」
当選者 日野 勇 砂田 哲彦
西脇 理子 木村 恵
宮川 多鶴

地域班だより

今年度 地域懇談会（清掃ボランティア）実施中

地域懇談会の一環として清掃ボランティアを計画し、9月末現在で8か所が開催。残りの8か所が計画中です。



7/9 今出ヶ浜清掃 垣生・味生・余土地区



7/30 姫が浜清掃 中島地区



7/9 梅津寺海岸清掃 三津浜・高浜地区



7/16 椿神社周辺清掃 石井地区



8/7 松山城周辺 清水地区



8/7 素鷲神社と児童館 久枝地区



9/11 空港通り清掃 生石・味生地区



9/11 太山寺参道付近清掃 和気地区



芭蕉句碑（多賀神社内）

松山市の郊外には、東西南北いずれの方角にも、現代になって開発された温泉があり、その道筋には、意外に多くの文学碑があります。市中心部の勝山町から東へ、此花町―新立町へ旧国道十一号を進み、新立橋手前の信号を右へ入ると、多賀神社があり、俳聖・松尾芭蕉の句碑があります。芭蕉四十二歳の貞享元（一六八四）年、熱田で詠んだといわれる旅の句です。

馬をさへなかむるゆきのあしたかな

芭蕉を慕う松山の人びとが、没



松山ぶらり・ぶらり

「句碑と温泉」



後百五十年忌の天保十四（一八四三）年に建てた句碑で、神社経営の幼稚園の遊具の傍に堂々と立つ句碑です。旧国道に戻り、新立橋を渡った所の金比羅神社境内には、正岡子規の句碑があります。

新立や橋の下より今日の月

その昔、新立橋は永久橋（蓬萊橋）と呼ばれ、中央が高くなる反りのある橋だったといわれ、子規は明治二十八（一八九六）年秋、「今日の月」即ち「仲秋の名月」を、ここから仰いだようです。この秋の帰郷を最後に、子規は再び松山へ帰ることなく三十五歳の若さで他界しました。

神社を出てすぐを左へ、日の出町へ入ると石手川公園があり、子規と五百木瓢亭の句碑二基が並んでいます。

新場処や紙つきやめばなく水鶏
そゝろ来て橋あちこちと夏の月

です。

子規句の「新場処」と言うのは



子規と五百木瓢亭句碑（石手川公園）

藩政時代、高知や周桑から来た紙漉き職人の住んだ場所のこの瓢亭は、この近くの子規の生まれで、子規の句友です。

ここから東へ車で約十分で東野四丁目の松平松山藩初代藩主・定行の隠居所「東野、お茶屋跡」があります。県指定の史跡です。ここには、子規が帰省した時に訪れて詠んだ

閑古鳥竹のお茶屋に人もなし

の句碑と、虚子が昭和二十六年に詠んだ



子規句碑（東野お茶屋跡）

かやみの「の松伐るな竹切るな
の句碑が、木々の茂る中にあります。



虚子句碑（東野お茶屋跡）

東野から正円寺―畑寺には媛彦温泉があります。さらに東へ向かうと久米に至り、自然温泉「そら」ともり」があります。

この近くの史跡「如来院の戦跡」入り口、薬師堂前に、河東碧梧桐、会津八一、下村為山らの句、



会津八一の歌碑（如来院の戦跡）

歌碑があります。いずれも「句碑めぐり」文献などで紹介されたことのない碑ばかりですが、意匠に凝った珍しい碑で、一見の価値がありそうです。

若草会だより

第46回目となる恒例の「松山まつり」第2日目の12日、松山市シルバー人材センターから、今年も約70名が

「松山シルバー連」を結成し参加しました。



松山まつり

いざ出発！ 全員集合・・・でパチリ間に合わなかった人ゴメンナサイ



会場へ出発前のミーティング

松

山

シ

ン

バ

一

連

元気に踊り披露



踊りのスタート前
みなさん余裕の笑顔
9回目出場の自信でしょうか

沿道の観客に堂々の踊りを披露
(大街道)

「男おどりが無いんです！
しなやかに・・・しなやかに・・・

「松山まつり」主な変遷

- 昭和41年(第1回) 名称は「松山おどり」で、踊りも「伊予の松山鼓踊り」で始まった。
- 昭和43年(第3回) 「ミュージックナイター」併用。
- 昭和45年(第5回) 「野球拳おどり」採用。
- 昭和47年(第7回) 「松山まつり」に改称。「PL花火芸術大会」組み入れ。
- 昭和56年(第16回) 「PL花火芸術大会」中止。
- 平成元年(第24回) 「野球サンパ」実施。
- 平成15年(第38回) 「松山シルバー連」初参加。
- 平成16年(第39回) 「ミュージックナイター」中止。



手造りの山車 今年も連に花を添えました



審査員席はもう間近 列を揃えてきれいに踊ろう～ヨ
(千舟町通り)

サークル紹介

ゴルフ



当サークルは、平成14年4月に「ゴルフ同好会」として18名で発足し現在は48名です。

主な活動は、ゴルフコンペを年3～4回実施するのと、県シルバーコンペに数回参加するなど、みなさんが楽しみをしています。

メンバーの腕前のほどはピンからキリまでで、スコアーに80～130台の幅があります。

ハンディキャットでプレイしていますので100台のスコアでも優勝する人がいます。少しでも良い成績をと、普段の練習にみんな一生懸命です。

当サークルでは、「下手な人も上手な人も大歓迎！」をキャッチフレーズに、常に会員を募集してまゝす。
(上本記)



ゴルフ場でのコンペ風景

伊藤博文公と松山

味酒B-2 石崎博隆

二十七歳で兵庫県知事となり、その後、四代に及ぶ総理大臣を務め、また千円札の肖像にもなった伊藤博文は、明治四十二年に軍艦淀号で三津浜港に着き、松山に二週間ほど滞在している。

施設や郡中を訪問した後、河野氏ゆかりの大三島の大山祇神社を参拝している。
また、松山市発行の「道後温泉」によると、それ以前の、明治三十九年にも、三百回忌の準備のためか、約一か月にわたって道後で静養している。

河野家は源平合戦時の通信、鎌倉時代の一遍上人、蒙古来襲時の通有、湯築城築城の通盛等を生み、源平合戦から落城まででも四百年も続いた家柄である。

河野家は源平合戦時の通信、鎌倉時代の一遍上人、蒙古来襲時の通有、湯築城築城の通盛等を生み、源平合戦から落城まででも四百年も続いた家柄である。

海南新聞（現愛媛新聞）によると、この時道後公園で『私の祖先は河野一族で、桑原（現畑寺町）付近を準備していた淡路ヶ峠城主の林淡路守通起で、予は其れより十一代目に当たれり。明年、通起の三百回忌を営むつもりなり。予が祖先は当国より出でたるものなれば、当国は祖先の故郷なり』と挨拶している。

通起は、湯築城が落成した後、殿様と共に廣島の竹原へ渡るが、山口に移り

会員の広場



伊藤博文公

泊し、市内の公共

湯築城が落成した後、殿様と共に廣島の竹原へ渡るが、山口に移り



伊藤博文ゆかりの、現在の畑寺町と淡路ヶ峠（別名淡路山）

自慢の孫紹介

才色兼備

垣生B-1 藤嶋 カズ子



バレエボールに夢中になっている小学四年生の里桃（りとう）です。

スポーツだけでなく習字も頑張っている、この度二段が取れ喜んでます！

「ご褒美におばあちゃんと寝ていい？」って幾つになってもせがんでくる優しくて甘えん坊の孫なのです。

いつまでも、その可愛らしい気持ちを持ち続けてほしいと願っています。

百姓を始める。

その後博文公は、両親と三人で足軽の伊藤家に養子となる。

昨年、萩へ行った際、現地でベテランのボランティアガイドに、博文公のことを尋ねたら『あれは百姓の子じゃがな』と、蔑んだ言い方をされた。

今年5月、若草会の日帰り旅行で萩を訪れた際に、一度見ておきたかった、博文公の旧宅を初めて訪れてみた。茅葺屋根の小さな平屋で、博文公が、十四歳から二十七歳まで、

ご両親と一緒に暮らしていたらしいと言う。

そこで私は、博文公のことは、ご先祖のいた松山から発信しなければと考え、観光ボランティアの会で講義をしたり、ガイドで国宝の石手寺や道後・松山城の案内をするとき、写真を見せながら博文公の紹介をしている。

愛媛から総理は出ていないが、ご先祖からは、総理が出ていますので、博文公の宣伝に努めることとしている昨今である。

